

人権だより

No.310(2024.2)

あか しあわ みらい
明るく幸せな未来のために

人権教育相談部 速水 和幸

私たちは、毎日の生活で、しばしば「人権」という言葉を目にしたり、聞いたりすることがあります。みなさんもご存じのように「人権」は、歴史的にみるとヨーロッパで生まれた考え方で、「人は一人ひとりがかけがえのない、尊いものであり、いかなる場合も踏みにじったり、無視してはならないものを人権と考えたそうです。18世紀末に作られたアメリカ合衆国の独立宣言や憲法、フランスの「人と市民の権利の宣言」などにその考え方が盛り込まれています。



けれども、当時、「かけがえのない、尊い人」一人ひとりの中には、植民地の人々や、人種の異なる人々、奴隷の人たちなどは含まれていなかったそうです… 私たちにとって、当たり前になりつつある「今日の人権」ができるまでには、数々の困難と、その困難を打ち破るべき、想像を絶するような「熱い想いや闘い」があったことを、今一度想像してみてください。

…しかし、今の世界情勢を見ると、絶え間なく続く戦争など、人権が完全に守られているとは言えません。将来、この「今日の人権」を壊すのも人間(わたしたち)であり、守り抜くのも人間(わたしたち)であるという事を肝に銘じておかないと大変な時代が来るかもしれません。私は、「今の自分は大丈夫かな?」「今日も気持ちよいあいさつできたかな?」「最近、家でありがとうとあまり言わなくなったな。」などと、月に一度の「人権を確かめる日」に自分を少し振り返ることが将来の大きな幸せに繋がると思っています。そして「宇和島南」のように、平和を求めて「ひまわりの種」を蒔いたり、震災への募金活動に参加する経験は、その人の人権感覚を磨き、いつかきっと日本を超えて、世界の明るい未来と平和に繋がると信じています。ともに「人権感覚」を磨いていきましょう。「肩の力を抜いて、小さなことから、一歩ずつ前進していきましょう。」

最後に、桑原律さんの「光は風のなかに」にある詩を紹介(一部抜粋)します。

「人権感覚」って何ですか?

それはけがをして苦しんでいる人があれば

そのまますどおりしないで「大丈夫ですか」と助け励ます心のこと

それは悲しみにうち沈んでいる人があれば

見て見ぬふりをしないで「一緒に考えましょう」とともに語らう心のこと

それは偏見と差別に 思い悩んでいる人があれば

わが事のように感じて「そんな事は許せない」と自らすすんで行動する
心のこと

それはすどおりしない心 見て見ぬふりをしない心

他者の苦悩をわが苦悩として人間尊重のために行動する心のこと
(成長とともに、時代や忙しさが変わっても、守るべき大切な心が人権感覚では
ないでしょうか?)

【保護者の声】 文章を読んだPTA人権委員の方の感想です。

子ども時代に憲法の「基本的人権の尊重」を学んだ際、私たちは守られていると感じ、安心したことを覚えています。戦争や災害現場での痛ましいニュースを見聞きすると辛くなります。どんな時も心を大切に、自分を大切に、相手を大切にしなければと思います。(2年生保護者)

人権が目に見えないものだからこそ、一人一人が心の中で大切に守っていかないといけないと思いました。いきなり世界をよくすることは難しくても、日頃から身近な人に対しての気づかいや心配りを大切にして、その小さな種が多くの人に広がるよう、心がけようと思いました。(2年生保護者)

【人権委員の声】

当時のヨーロッパの「かけがえのない尊い人」の中に、植民地の人や異なる人種の人などが含まれていないことに驚きました。自分も人権感覚を磨いていきたいです。(1年生 人権委員)

私はこの文章を読んで、困っている人がいればすぐ行動に移せるようになりたいと思いました。そして、日々を振り返ったり、人権活動に積極的に参加したりしようと思います。世界では今でも戦争が続いていることを忘れず、今の自分にできることをやろうと思います。(2年生 人権委員)

この詩の、「他者の苦悩をわが苦悩として人間尊重のために行動する心のこと」というところがいいなと思いました。僕も「ありがとう」などのささいな言葉を言えるように心がけたいです。(3年生 人権委員)

挨拶をしたり、募金をしたりするなど、少しでも誰かが笑顔になってくれるようなことを自分から探して実践していくことがすごく大切だと思いました。自分から進んで人に親切にして、全ての人が思いやりをもって行動していけたらいいなと思いました。(4年生 人権委員)

今、当たり前になっている人権は昔の様々な人が困難を乗り越え、闘った努力の証だと改めてよく分かりました。誰かがどうにかするだろうと他人をあてにしてばかりいると何も変わらないと思うので、募金に協力したり、大きな声で挨拶したりという簡単なことを積み重ねて、自分の人権感覚を磨き、たくさんの人が築いてきた「今日の人権」を守り、次の世代につなげていきたいと思いました。(5年生 人権委員)